

主イエス・キリストの御降誕おめでとうございます



教皇フランシスコの呼びかけに

応えて、京都教区も今年、

「神の貧しさを生きる」を

テーマに、貧しく生きること

を考えました。教皇様は、福音に基づく謙遜、
教皇としての簡素な生活、親しみやすさでもって
多くの人々に、福音の喜びを示しておられます。
「出向いていく教会」になって、貧しい人々の
そばに寄り添う宣教を続けましょう。

来年には、神のしもベユスト高山右近の列福
承認が得られるでしょう。また三月十七日は、
長崎で信徒発見一五〇年を記念します。そして、
「都の聖母」像が作成され、教皇ピオ九世による
祝福から、一五〇年になります。ロバン神父様
とヴィリオン神父様のふるさとをたずねる感謝の
巡礼もいたします。

いつくしみ深い父なる神の恵みが

豊かにありますように、

幼子イエスの祝福をお祈りいたします。

二〇十四年十二月二十四日

カトリック京都司教

十 パウロ 大塚 喜直

